

キャラクター名	プレイヤー名
マルティナ・アラベルガー	

メインクラス	ウォーロード	Lv.1:		レベル	11
サポートクラス	サムライ	Lv.1:	アルケミスト	性別	♀
称号クラス				年齢	23
種族	ヒューリン			境遇	傷病
出自 (効果)	闇の一族			目標	逃亡

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	25	21	9	8	8	23	6
ボーナス	8	7	3	2	2	7	2
クラス修正	3	3	1	0	0	1	0
他修正							
能力値	11	10	4	2	2	8	2

HP	122
MP	90
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ライフル	50m	1	16	0	0	0	-5	0
左手									
頭部	ギアヘルム					7	1		
胴部	クリスタルアーマー				-1	14			0
補助	セレスチャルポイントアーマー				-3	6	3		0
装身具	豪傑の証								
能力値			10	0	4	0	8	6	16
スキル	マシナーマ、フェイス、ウェポンルーラー、オートガード、防衛部隊		2			16	9		
その他	豪傑の証、戦士の環、リムブースト、ギアヘルム		3	1		8	2		
総計(右)			16	17					
総計(左)					0	51	23	1	16
総計(両)									m
ダイス数			3 d	2 d	2 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	2			2	+ 2 d
トラップ解除	10			10	+ 3 d
危険感知	2			2	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定	2			2	+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定	10			10	+ 2 d

所持品	
異次元バッグ	戦士の環
ベルトポーチ	リムブースト・メタル
小道具入れ	銃弾：白薔薇
ポーションホルダー	銃弾：黒薔薇
矢筒	銃弾：赤薔薇
強化弾×2	MPポーション×5
キャップライト	MPポーション×5
ナイフ	EXHPポーション×1
ガンスコープ	万能薬×5
パウダーチャージ	轟魔弾×2
パウダーチャージII	野営道具

現在重量：	20	所持金：	11388	預金・借金：	
最大重量：	37				

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ハーフブラッド	★	-	パッシヴ	-	-	-		
効果：	タイミングがメイキングのヒューリン以外の種族スキル一つを修得。ただし幸運基本値-3							
バッシュ	3	4	メジャー	武器	単体	命中		
効果：	武器攻撃を行う。ダメージロールに+[SLd]							
マスターハンド	1							
効果：	ハーフブラッドで取得							
ガンスミス	1							
効果：	マスターハンドで取得							
カバーリング	1	2	ダメ口前	至近	単体	-	メイン1回	
効果：	行動消費なしでカバー							
カバームーブ	3	4						
効果：								
ウェポンフォージ	5	8						
効果：	武器攻撃のダメージ+ [SL] D							
アームズマスタリー：練金銃	1							
効果：								
ボルテクスアタック	1	-						
効果：								
コンバージョン：ライフル	1							
効果：								
オプションパーツ	3							
効果：								
クイックフォージ	1	3						
効果：								
リサイクル	1	8	シーン終了時					
効果：	そのシーンで使用した矢弾を再び所持品に							
クイックエイド	1		マイナー				シナリオ1	
効果：	HPをCL×10回復し、状態異常を全て回復する							
ウェポンルーラー	1							
効果：	命中判定+ (SL+1)							

ヴァンスターの元軍人で流れの冒険者。
 左の手足を失っており、そこに機械の義肢をつけている。それを隠すため、服は年中長袖。中破すると見える。
 また、右頬に火傷の痕がある。
 無表情クール系で感情表現が苦手。「～だ」といった感じの堅い喋り方をする。
 価値観は現実的かつシビア。あそこまで嫌みじゃないけどる剣の斎藤的な。
 しかし困ってる人は意外と放っておかない。ツンデレ。

捨て子や侵略先の孤児等、「死んでもかまわない子ども」を集め、非人道的な戦闘訓練や人体実験を施して強力な兵士に育て上げる「6号福祉教育施設」の出身。
 施設以前の記憶を失っており、親のことはおろか、本名も、どこ生まれかすら定かではない。
 マルティナという名は、軍属になるにあたり名無しでは問題なので与えられたもの。
 もっとも、出自上はたして「本名」と呼べるものを持っていたのかすら怪しいため、これが本名であるともいえる。

施設の出身者は、兵の、もっと言ってしまえば「普通のヴァンスター国民」の犠牲を減らすために特に過酷な戦場へ派遣されるのが常であり、侵略戦争の激化もあって、彼女は地獄のような戦場を歩き歩くことになる。
 日々繰り返される目を覆うような光景に嫌気がさしてはいたが、戦いだけが存在理由であり、また生かされている理由であった彼女は、人殺ししか能の無い自分に苦悩しながらも感情を殺して命令に従い続け、左足をを吹き飛ばされても義足をつけて戦場にしがみついた。
 そうして激戦区で無茶な戦いを続けていたが、体に蓄積されたダメージによって徐々に能力を欠いていき、とうとう囃の捨て駒としてほんの少数の兵と共に戦場に送られることとなる。
 ともに派遣された兵士たちは、戦場の狂気に当てられ、また死を前にした絶望感から良心も何もなくなってしまっており、進軍途中にあった小さな町で虐殺、略奪、性的暴行など非道な行為を働き始めた。

